



Weekly Report



ロータリーは出会いのひろば

佐世保北ロータリークラブ 2011～2012年度 RI 会長 / カルヤン・パネルジー ガバナー/ 岩永信昭

会長/中島閔二 幹事/深町 等 例会場/佐世保市島瀬町7番7号 西沢本店8Fカトレアホール（毎週月曜日）
 創立/1984. 4. 16 認証/1984. 5. 14 事務局/佐世保市島瀬町7番7号 西沢本店内 TEL 0956-22-7144 FAX 0956-22-1201
 E-mail office@sasebonorth.org Web http://www.sasebonorth.org

【本日】会員数44名 出席 31名 欠 席 3名 出席規定免除会員（10）出席 9名 ビジター 0名 出席率 90.91%
 【前々回】会員数44名 出席 26名 メークアップ 3名 出席規定免除会員（9）出席 9名 修正出席率 86.36%

《会員卓話》

「無為徒食の1年をふり返って」

棧 護 会 員



本日は、貴重な時間に卓話の機会を与えて頂き有難うございました。

退職後、「毎日なしてるの?」「これから、どうするの?」というお尋ねだと思えます。退職と云うのは

は人生の大きな出来事です。人生の、ターニングポイントです。

まず、私は、テーマを考えるにあたって次の事を考えました。日常と非日常とに分ける。この一年を振り返ってみる。それらの事を、娯楽、教養、健康、旅行、仕事に分けてみました。さらにそれらを誰と行動したか?に分けてみました。現役の時は、もちろん仕事が大事なことで大半がそれにあたります。

この1年は、幸か不幸か仕事以外の事柄が優先致しました。

そこで、各々の項目に手帳の予定表よりこの1年間の非日常の事柄を月毎に振り返って表にしてみました。見えてきた事は、娯楽がさらに、舞台観劇、コンサート、歌謡ショー、映画、旅行などに分類できます。教養のジャンルでは、講演会、文化茶話、公開講座、美術館・博物館鑑賞などでしょう。

「させば夢大学」と云う文化講演会は、娯楽、教養両方兼ねている生涯学習の場です。

健康のジャンルは、ゴルフ、山歩き、ウォーキングなどどちらかと云うと、日常のことに入るでしょう。さきほど娯楽にあげた旅行は、全ての要素を持っているように思えます。

以上のような沢山の体験を積ませて頂き、こんな事も自問自答しました。

「気ままな生きる事は」は自由で楽しく生活をする事には違いないが、それだけなのか?

「自由」とは、ほんとに、喜びか?抵抗が全くない生活は、空しいような気がします。現役の時はストレス、拘束力があってそれを乗り越えた時の感覚が大袈裟に言えば、幸福ではなかったでしょうか?これからは、先ずは、自分に何か自分なりのプレッシャーや規範をつくる事が肝要です。それを乗り越えた時が、喜びだと思います。精神的な抵抗だけではなく肉体的にもそうです。例えば、登山やスポーツなどは、辛い、きつい状態を克服してはじめて満足感を感じたりします。

このように、何か目標を自分に課すこと。二つ目は、自分の知らない事、知識を得た時、これも喜びをおぼえます。生涯学習などもその一つだと思います。

三つめは、他人が喜ぶ事を実行できた時は、違った喜びと感じたりします。

そしてそれらの事を、結果だけでなくむしろ経過を楽しむたらしめます。

理屈より感性の充実が楽しいような気も致します。現役時代の効率・能率・ノウハウの論理思考より「やった!」「すごい!」「なるほど!」など5感で感じる体験をすることが楽しいですね。これらが 前向きで生きがいのある「自由で楽しいシニア・ライフ」ではないでしょうか?

最後に、人とのコミュニケーションが、これらの基礎にあります。家族、友達、幼友達や大学時代の友人との絆が大事です。現役の時の仕事関係の繋がりは、脆いと感じました。ロータリーの親睦（例会）は、私にとって唯一の社会参加ですし現在のルーチンワークです。この絆を大切にしたいと思います。

本日は、貴重な時間を私の拙い卓話に割いて頂き有難うございました。

何かアドバイスなり感想でもあれば、お聞かせ頂ければ幸いです。今後ともよろしくお付き合いの程、お願い致します。

地区大会で米山セッション 2660地区

2011年11月11-12日に開催された第2660 地区 地区大会第1 日目に、「米山修了生とともに理想の米山奨学生像を語る」をテーマとするセッションが開かれました。登壇したのはこの日のために台湾から来日した許國文（きょこくぶんさん 1975-77/徳島RC/羅東西RC会員）と林維宏（リンウェーホンさん 1987-88/岡山南RC/台北民生RC会員）、そして第2750 地区・東京米山友愛RCから2011-12 年度会長の林芳（りんほうさん 2008-10/東京麻布RC）と、ギリ・ラムさん（1998-2000/室蘭RC）の4 人です。台湾学友会が実施している日本人への奨学金制度や、ロータリアンとしての具体的活動など各人がスピーチをした後、地区米山奨学委員長の武島秀吉氏がコーディネーターを務めて、パネルディスカッションが行われました。

《RI ニュース》

2012-2013年度 RI テーマ&ロゴ



16日に行われた2012年国際協議会の開会本会議で、田中作次RI会長エレクトが次年度のRIテーマを発表し、「奉仕を通じて平和を」築いていくよう、ロータリーの次期地区ガバナーに呼びかけました。「平和をどのように定義するにせよ、平和がロータリーにとって究極の、そして実現可能な目標であることをご理解ください。平和は、協定や、政府や、大胆な闘争だけでなく、日常の簡単な方法の積み重ねによって成し遂げるものであります」

「平和」が何を意味しているかは、人によって違う、と会長エレクトは語ります。「どの定義が正しいとか、間違っているとかということではなく、自分にとって平和が意味すること、それがまさに平和なのです。どのような意味でこの言葉を使うにしても、ロータリーでそれを実現することができます」

ビジネスで活躍し、埼玉県に在住する田中会長エレクトは、ロータリアンとなったことで世界観が広がった自らの経験について語りました。1975年に八潮ロータリー・クラブに入会後、収入や売上げを増やすことよりも、ほかの人の役に立つことが人生で最も大切だと思うようになったと話します。「どんな些細なことでも、人を助けることがいずれは平和につながることに気づきました」

また、「個人のニーズより、社会のニーズを重視するのは、日本の文化と切り離せない伝統的な価値観」と語る田中会長エレクトは、この価値観が3月の東日本大震災後の復興努力にも見受けられる点に触れました。「これは、日本以外の国々にとっても、良い教訓であると感じています。他者のニーズが、自分自身のニーズよりも大切だと思え、社会全体のための共通の目標に向かって力を合わせることができるようになれば、世界に対する見方、関わり方、価値観など、すべてが変わるように

なります。そして何よりも、平和というものに対する考え方が変わります」

田中会長エレクトはまた、RI戦略計画の3つの優先項目への支援、ならびに広島、ベルリン、ホノルルで開催される3回のロータリー平和フォーラムの推進にも協力するようロータリーの次期リーダーに呼びかけました。

《ニコニコBOX》 三谷秀和 親睦活動委員

中島閏二 会長 永田武義 副会長 深町 等 幹事

本日は、棧会員の卓話です。人生の先輩としてこれからの高齢化社会で、どのような生き方が、ベストなのか、ご教授いただければ幸いです。

松尾辰二郎君

悠々自適な生活で、気ままな人生を生きていられる棧護さんの、残りの人生をどうすごすかの話、とても楽しみに聞かせて頂きます。

棧 護君

本日は、旧暦の正月（春節）です。新年早々私のつまらない話でお耳を汚し、申し訳ありません。御静聴のほど、宜しくお願い致します。

小西宗十君

長崎県で私たちが推薦した作品が今年度の九州文学賞になりました。10年ほど審査委員をしていますが、初めての経験です。夏の芥川賞の可能性もありそうでニコニコです。棧会員、本日の卓話お疲れさまです。（気ままな生き方）を小説に書いて、九州文学賞をとって下さい。

西川正美君

先日の新年会、親睦委員会の皆さん、お世話になりました。お疲れ様でした。棧さん、本日の卓話お疲れ様です。（気ままな生き方）私も理想としたいと思います。卓話聴きたかったのですが本日、所用があって早退させていただきました。

村上寅雄君 峯 徳秀君 平石晃一君 豊島揆一君
古賀新二君 田島勝明君 富田耕司君 中山 誠君
日高省三君 湯口純二君 須田 昇君 藤井良介君
宮崎有恒君 宮原明夫君 蒲池芳明君 福田俊郎君
中野雄一郎君 大鳥居 宏君

棧会員の本日の卓話お疲れ様です。楽しく拝聴させていただきます。新年会お疲れ様でした。

親睦活動委員会

森 豊君 田平 孝君 横尾 寛君 村瀬高広君
三谷秀和君 渡会祐二君

新年会大変有難うございました。皆様のおかげで楽しい新年会になりました。本日の卓話楽しく拝聴させていただきます。

本日の合計 35,000円

累計 921,000円